

7月12日(土)9時に山王神社に集合、共催を代表して西村さんの挨拶の後、参加者に役割分担の説明をし、スタートをしました。参加人数は27人で前回3月15日より10名ほど減りましたが、新しく5丁目からポスターを見て前から参加を希望していた方も来られました。

年に3回の草刈りは、登山道の路傍から四季おりおり観察できるヤマモモ、ヒメユズリハ、ヤブツバキ、カゴノキ、ソヨゴ、ヤブニッケイ、ネズミモチ、トベラ、ネズミサシ、などの常緑高木～小高木や、コバノミツバツツジ、ヤマツツジ、ナツハゼ、ネジキ、シャシャンボ、ヒサカキ、マルバハギ、クサイチゴなどの低木なども茂り、自然に野草も育ち。それらの生育の一助になっていると思われます。

この夏、特に山上噴水遊園下の、やせ尾根の路傍の草が生い茂り、登山道の両崖が隠れ滑落の怖れがありました。

塩屋協議会のご厚意で刈払機を貸出いただき塩屋北町の城戸さんの操作でしっかり登山道が確認できるようきれいに草刈りが出来、安全に登山が楽しめるようになりました。

残念ながら、竹林の地主の立ち入り禁止のポスター掲示で、竹林の整備まで出来ないで、竹藪が生い茂り中の樹木は枯れているのではないかと思います。登山道の路傍しか出来ませんが今回は特に、宮前の落葉かき、毘沙門さん参道の草刈りで登山道から段々畑などが望める南谷の里山の風景が見られいつまでも将来に残せる森をみんなで、守れることを願います。



## 国道2号3車線化問題

以前より、東行き2車線化の実効性と歩行者空間を犠牲にすることへの疑問、安全(既に死亡事故を含む4度の事故が発生しています)、景観・環境に対する影響への懸念から、推進会として4度にわたる事業見直しの要望書提出を行っています。

それらを踏まえ、1月に国土交通省近畿地方整備局・兵庫国道事務所上層部との会合を持ちました。

国交省側(黒谷所長)の見解としては、当事業は自動車交通の円滑化と追突事故の抑制が目的であり、全体的な効果を勘案して事業決定を行っている、とのことでした。

また、事業に伴う具体的な課題として、官公橋交差点付近の安全対策、過去に国交省より提案があったJR南歩道橋と駅舎との接続実現があり、それらについて、地域を含めた関係者全体での協議を行うよう、国交省に要請しています。

後援：一般社団法人塩屋商店会

8月9日(土)  
14:00～17:00  
しおみちゃんの家



かき氷を食べながら、夏のよもやま話を。



## ふれまち防災・減災マップづくり

以下のようなスケジュールでマップづくりを予定しています。ぜひご参加ください。

8月頃「講演・意見交換」  
塩屋で起こる災害について

秋頃「まちあるき」  
①「海側」  
②「山側」  
子供～高齢者の目で地域を見る

年明け「ワークショップ①」  
調べた情報を整理する

## 塩屋の歴史・文化的資産を地域で継承する活動(垂水魅力アップ活動)

塩屋に永く住んでおられる方々から、子どもの頃の塩屋の街を語ってもらう「徹公の部屋」を実施中です。地域のみなさんに昔の塩屋を認識してもらう機会としています。これからも引き続き実施していきますので、参加をお待ちしています!

また、地域で残すべき自然や景観、建築、構造物等「塩屋の資産」を把握し、高度成長期前の昭和30年前後の街の風情を掘り起す取り組みも進めています。昔語りで出てきたポイントを実際にあるき、当時の塩屋の状況を地図に落とし込んでいく試みです。

◆徹公の部屋：月1回開催(「しおやと、」にて)

- ①「いかなごくぎ煮事始め」平成26年1月25日(松本幸次郎氏)
- ②「クリーニング事始め」平成26年2月22日(佐伯昌二氏)
- ③「塩屋と多井畑を結ぶ」平成26年3月22日(中塚信昭氏)
- ④「少年野球からオールパワーへ」平成26年4月26日(尾崎益生氏)
- ⑤「しおや大好き!」平成26年5月31日(原田豊子氏)
- ⑥「しおやの原風景に溶け込んで」平成26年6月27日(北川保幸氏)
- ⑦「60年前の、塩屋の子供の遊び」平成26年7月26日(北川保幸氏)

◆塩屋マチアルキ：年2回開催

- ①平成26年6月15日塩屋大町さんの案内により塩屋駅北側近辺を散策

